

www.youtube.com/@sc8089

2026

クリックしてみて！スキーフェスティバルの動画
が見れるよ！

シーズン納会



4月末の春スキーと5月の稲葉例会この指とまれを残し、2026のスキーシーズンも終わりになります。今シーズンはメモロも課題は山積みですがオープンして、平日例会ができました。物価高騰でリフト代はもちろんのこと、昼食代もあがり、キロロのランチには驚き(@_@。でした。なんとか割引券を活用し、ツアーはローカルスキー場と安い宿泊場所を探し楽しみました。年齢も1歳ずつ増え、色々身体にも不調がでてきています。副会長の小倉先生の訃報は悲しい出来事のシーズン終わりでもありました。スキーシーズンが終わると夏季行事が始まります。お金と身体と相談しながらみんなで楽しい行事にしていけるとよいですね。笑うとドーパミンが出て健康に一役かきますよ。

3月29日(日)、納会サホロに行った。風は少々強かったが、天気はまあまあだ。雪はもう水分MAX、グシャグシャ。それでも滑り具合は悪くなかった。でも力量がこんなんであるから、早々と足がいうことを効かなくなった。昼ご飯は、今日の決めの「カツ物」。味噌カツ丼を頼んだが、味噌が品切れ、やむなしソースカツ丼となったが、カツが厚くラッキーだった。帰りに、リゾートホテルで風呂に入った。チケットがあれば風呂代が半額、さらにシニア割まであってびっくり!! 以前、我々のフェスティバル以来、これが最後かと思うと少しグツときた。貸し切り状態の広い風呂、しかもシニア割で350円とは安〜い。参加は横塚さん、公平さん、あっちゃん、まゆみさんと哲二でした。(記 高橋哲)



5月例会

広尾につつじを見に行こう!

5月16日(土)

昨年はつぼみだったのでリベンジです。

昨年と同様に広尾の大丸山公園でつつじを鑑賞

昼食は広尾で(候補はラーメン飯店大将)

山菜を採って(わらびあるかな? ウドあるかな?)

晩成温泉で入浴(ヨードの湯♨)

持ち物は温泉道具と山菜採りする人はそれなりに準備してきてください。

集合場所 高山泌尿器科駐車場(西5南36)

(工事中なので狭くなっています)

集合時間 9:00

4月3日(金) 丘の上の納会

今回はいつも二次会でお邪魔している『び〜る』へ、1次会から2次会の4時間で6,000円をお願いしました。うま〜いビールで乾杯々ママお手製の豚汁に「うまい」と。持ち込みもOKということで、日本酒もちろん飲みました。小倉先生を忍び、長野の真澄と高橋家にずっと眠っていた秘蔵のお酒(これも長野のお酒)少ないからと2本で足りるかと思いきや、足りなくてすぐそばにオープンしたばかりの酒屋があるというので調達に、これも長野のお酒でした。長野の酒はうまいよ〜!

参加は、横塚・佐藤・石原・菅原・高橋哲・渡邊・斉藤の7名でした。

北海道スキー協議会

代表者会議・45周年レセプション

7月5日(日)

役員会は5月12日(火)18時30分〜 栄福祉センター

小倉先生をしのぶ

スキーと一緒に滑ったのは、1992年か93年の冬、クラブの例会か糠平でのフェスティバルの時かと思います。小倉先生とは勤医協の医師であったので私は風邪とかで先生の診断をスキーと一緒に前からお世話になっていました。とくに私の場合は人生の転換、職業を変える時に、そのきっかけというか助言をいただいたという事で、先生がいなければ、もしかしたらどうなっていたか？という出会いであったと思います。

小倉先生(医師)の診断はさりげなく様子を診るというか身体の不調は世間話(会話)からみてとるような感じでした。もちろん聴診器をあてたり咽頭をみたりします。その中には患者を安心させる信頼度が小倉先生はものすごく高かったと思います。ですから私の主治医だと思っていました。

クラブで一緒になる機会が多くなり、色々教えてもらいました。まずはお酒、日本酒の美味しさ、真澄や臥竜梅などの銘柄と日本酒の奥の深さを知り、仲間たちと共に飲む楽しさで更に美味しく飲むことを知りました。

ラーメンも先生自身が食べ歩き、その情報を談義の中で知って共有したものです。親父ギャグも???、よく考えないとわからない?ひねったギャグを飛ばし、みんながハテナ?ハテナ?と場を和ませていただきました。

スキーはゲレンデ巡りをするのですが、元気な頃は先頭きって難しい斜面に挑戦してたと記憶しています。後半からは体調の変化か斜面で休んでいる姿が多く見られました。先生とは元旦スキーと一緒にいこう!とサホロの誰も滑っていないゲレンデに自分のシュプールを描いて、温泉に入り、ラーメンを食べて帰ってきたことを思い出します。クラブのみなさんにも優しい笑顔で接してくれて例会の際などは先生がいてくれたから安心した雰囲気にも包まれていました。

本当にありがとうございました。天国から私たちのことを見守ってください。小倉先生のことは事あるごとに忘れられないことばかりです。感謝の意を込めて思い出の一文といたします。

(記 佐藤久輝)

